Ⅰ　【　】に最も良く当てはまるのはどれか。

1) 前漢時代に書かれた「傷寒論」と「金匱要略」の作者は【問１】である。

【問１】　１．張仲景　２．李東垣　３．陶弘景

2) 西暦 659 年、蘇敬らは「新修本草」を著した。この勅撰本草は別名【問２】と呼ばれており、仁和寺に写本の一部が残されている。

【問２】　１．名医別録　２．唐本草　３．図経本草

3) 宋代に編纂された【問３】は、国家機関の関与のもと中国にて発行された医薬品の処方集で 297 処方が記載されている。

【問３】　１．備急千金要方　２．和剤局方　３．万病回春

4) 明の時代の 1596 年に李時珍が著した本草綱目には、およそ 1,900 種の薬物が収載されており、我が国の江戸時代の本草学者【問４】に大きな影響を与えた。

【問４】　１．小野蘭山　２．田代三喜　３．岡本一抱

5)「養生訓」で知られる【問５】は、「本草綱目」所載の薬物と我が国の民間薬とをあわせた「大和本草」を著した。

【問５】　１．新井白石　２．平賀源内　３．貝原益軒

正解
【問1】１　張仲景
【問2】２　唐本草
【問3】２　和剤局方
【問4】１　小野蘭山
【問5】３　貝原益軒

Ⅱ　抑肝散に関する文章を読み、問に答えよ。

五臓の肝は【問６】をつかさどり、抑肝散の名称は、肝の機能異常を調整することから命名された。構成生薬の【A】と【B】が協力して亢進した【問６】を鎮め、【問７】と川芎により肝血の流れをよくし、茯苓と朮で【問８】の流れを整える。

抑肝散は、元来【問９】などに用いる処方であったが、最近では【問 10】の改善を目的に使用されている。

1）【問６】に当てはまる最も適切なのはどれか。

　１．循環器系活動　　２．精神活動　　３．生殖活動

2）【問７】に当てはまる最も適切なのはどれか。

　１．柴胡　　２．人参　　３．釣藤鈎　　４．当帰　　５．芍薬

3）【問８】に当てはまるのはどれか。

　１．気　　２．水　　３．血

4）【問９】に当てはまる最も適切なのはどれか。解答群１の中から選べ。

5）【問 10】に当てはまる最も適切なのはどれか。解答群１の中から選べ。

6）【A】と【B】に当てはまる最も適切な組み合わせはどれか。解答欄の【問 11】に記入せよ。

　１．(a,b)　　２．(a,c)　　３．(a,d)　　４．(a,e)　　５．(b,c)

　６．(b,d)　　７．(b,e)　　８．(c,d)　　９．(c,e)　　０．(d,e)

ただし、a から e までは次のとおりである。

　a．柴胡　　b．人参　　c．釣藤鈎　　d．当帰　　e．芍薬

解答群１
１．慢性頭痛　　２．片頭痛　　３．小児の夜泣き　　４．腹中の冷え
５．不定愁訴　　６．認知症の中核症状　　７．認知症の周辺症状　　８．高血圧

【問６】２　精神活動　　【問７】４　当帰
【問８】２　水　　【問９】３　小児の夜泣き
【問10】７　認知症の周辺症状　　【問11】２　柴胡と釣藤鈎

Ⅲ　女性の病気の漢方治療について、【問 12】から【問 18】までに入る最も適切なのはどれか。解答群 2 の中から選べ。

1)【問 12】は、華奢で弱々しい若年女性の冷えや浮腫、めまいに用いられる。【問 13】は、体力が充実しており、冷え、のぼせが強く、左下腹部に小腹急結が認められる場合に用いられる。【問 14】は、やや華奢な感じの中年女性の更年期症状の特にホットフラッシュや不眠、イライラに用いられる。

2) 更年期障害や血の道症に見られる不定愁訴のうち、末梢性めまいやのぼせがある場合には【問 15】、末梢性めまいの背景に胃腸虚弱があり、疲れやすい場合には【問 16】が用いられる。

3) 寒冷刺激で誘発あるいは増悪する末梢循環障害による若年女性の手足の冷えや腹痛には【問 17】が用いられ、比較的虚弱で腰から足にかけての冷えが顕著で、冷えのため腰や足が痛み、頻尿がある場合は【問 18】が用いられる。

解答群 2			
1．加味逍遙散	2．桂枝茯苓丸	3．当帰芍薬散	4．桃核承気湯
5．当帰四逆加呉茱萸生姜湯		6．半夏白朮天麻湯	
7．苓桂朮甘湯		8．苓姜朮甘湯	

正解
【問12】3　当帰芍薬散
【問13】4　桃核承気湯
【問14】1　加味逍遙散
【問15】7　苓桂朮甘湯
【問16】6　半夏白朮天麻湯
【問17】5　当帰四逆加呉茱萸生姜湯
【問18】8　苓姜朮甘湯

Ⅳ　防風通聖散は、使用に注意を要する生薬が多数配合されている。医療用漢方製剤「防風通聖散」の使用上の注意の記載について、関与する生薬はどれか。解答群３の中から選べ。

［使用上の注意（抜粋）］

◎慎重投与

・発汗傾向の著しい患者【問 19】

◎副作用

・偽アルドステロン症、ミオパチー【問 20】

・腸間膜静脈硬化症【問 21】

◎妊婦、産婦、妊産婦等への投与

・妊婦または妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。【問 22】、【問 23】

・授乳中の婦人には慎重に投与すること。【問 22】

◎その他の注意

・治療上食塩制限が必要な患者に継続使用する場合は注意すること。【問 23】

解答群３

１．人参	２．麻黄	３．甘草	４．大黄	５．桃仁
６．山梔子	７．附子	８．石膏	９．滑石	０．芒硝

正解
【問19】２　麻黄
【問20】３　甘草
【問21】６　山梔子
【問22】４　大黄
【問23】０　芒硝

V　感染症や呼吸器疾患の漢方治療について、【　】にあてはまる最も適切なのはどれか。各問の指示に従って選べ。

1）感冒の初期症状で自然発汗がない実証の患者で、強い発熱や悪寒を伴い関節痛のある時には【問 24】が、項背部の強いこりがある時には【問 25】が用いられる。【問 24】と【問 25】の処方には鎮咳、発汗、駆水作用を有する【問 26】が配合されている。

【問 24】　解答群 4 の中から選べ。

【問 25】　解答群 4 の中から選べ。

【問 26】　次の中から選べ

1．桂枝　　2．麻黄　　3．附子　　4．柴胡　　5．人参

2）わずかに自然発汗がある虚実間証の患者では、のぼせ感や口渇があり関節のはれや疼痛には【問 27】が、また体力中等度またはやや虚弱で喘鳴や水様の鼻汁がある【問 28】の患者には【問 29】が用いられる。

【問 27】　解答群 4 の中から選べ。

【問 28】　次の中から選べ

1．水滞　　2．気滞　　3．瘀血

【問 29】　解答群 4 の中から選べ。

3）自然発汗がある体力虚弱な患者においては感冒初期の代表的な処方で発表剤の【問 30】が配合された【問 31】や、胃腸が弱く抑うつ傾向を伴う症状には【問 32】が用いられる。

【問 30】　次の中から選べ

1．桂枝　　2．麻黄　　3．附子　　4．柴胡　　5．人参

【問 31】　解答群 4 の中から選べ。

【問 32】　解答群 4 の中から選べ。

4）高齢者や虚弱者の首筋から上背部、全身にかけて悪寒が強く、激しい咳やくしゃみを伴う鼻炎や全身倦怠感には【問 33】が用いられる。本処方に配合される【問 34】は冷えが原因の麻痺や痛みを除く。

【問 33】　解答群 4 の中から選べ。

【問 34】　次の中から選べ

1．桂枝　　2．麻黄　　3．附子　　4．柴胡　　5．人参

解答群 4			
1．安中散	2．小青竜湯	3．桂枝湯	4．麻黄湯
5．麻黄附子細辛湯	6．麻杏甘石湯		7．補中益気湯
8．桂枝二越婢一湯	9．葛根湯		0．香蘇散

正解

【問24】4　麻黄湯　【問25】9　葛根湯　【問26】2　麻黄　【問27】8　桂枝二越婢一湯
【問28】1　水滞　【問29】2　小青竜湯　【問30】1　桂枝　【問31】3　桂枝湯
【問32】0　香蘇散　【問33】5　麻黄附子細辛湯　【問34】3　附子

Ⅵ　該当する漢方処方名はどれか。解答群５の中から選べ。

1）【問 35】脾胃の虚証の食欲不振に用いられ、機能性ディスペプシアの治療に応用されている。

2）【問 36】虚弱体質で胃腸が弱く全身が冷えて下痢しやすい場合に用いる。

3）【問 37】体力の充実した実証体質の便秘や太鼓腹に用いる。

4）【問 38】腎虚の疲労倦怠感や冷え、頻尿、排尿困難、下肢の痛み、しびれ等に用いる。

5）【問 39】虚実間証で全身に水滞がある口喝や尿量減少、浮腫を伴う頭痛やめまいに用いられる。

6）【問 40】体力虚弱で四肢や腹部が冷えて、腹痛や腹部膨満感、過敏性腸症候群、癒着性イレウス等に用いられる。

7）【問 41】分泌物が多い皮膚疾患に用いられ、かゆみを和らげ炎症を鎮め水分過剰を調整し皮膚を潤す。

8）【問 42】実証ののぼせやイライラ感のある高血圧症や成人の浮腫を伴い顔面における鮮紅色の充血性紅斑を伴うアトピー性皮膚炎に用いられる。

9）【問 43】桂枝湯に芍薬と膠飴を加えた処方で補益強壮剤として用いられる。

10）【問 44】四物湯と黄連解毒湯の合方による処方で補血剤として用いられる。

解答群５			
１．五苓散	２．六君子湯	３．八味地黄丸	４．大建中湯
５．真武湯	６．小建中湯	７．黄連解毒湯	８．消風散
９．防風通聖散	０．温清飲		

正解
【問35】２　六君子湯
【問36】５　真武湯
【問37】９　防風通聖散
【問38】３　八味地黄丸
【問39】１　五苓散
【問40】４　大建中湯
【問41】８　消風散
【問42】７　黄連解毒湯
【問43】６　小建中湯
【問44】０　温清飲

このページは白紙です

Ⅶ　次の生薬について、それぞれ、①薬用部位、②基原植物名及び③主要含有成分の構造式はどれか。各問の指示に従って選べ。

1）サンシシ

①【問 45】薬用部位を解答群 6 の中から選べ。

②【問 46】基原植物名について最も適切なものを解答群 7 の中から選べ。

③【問 47】主要含有成分の構造式を解答群 8 の中から選べ。

2）バクモンドウ

①【問 48】薬用部位を解答群 6 の中から選べ。

②【問 49】基原植物名について最も適切なものを解答群 7 の中から選べ。

③【問 50】主要含有成分の構造式を解答群 8 の中から選べ。

3）チョウトウコウ

①【問 51】薬用部位を解答群 6 の中から選べ。

②【問 52】基原植物名について最も適切なものを解答群 7 の中から選べ。

③【問 53】主要含有成分の構造式を解答群 8 の中から選べ。

4）ダイオウ

①【問 54】薬用部位を解答群 6 の中から選べ。

②【問 55】基原植物名について最も適切なものを解答群 7 の中から選べ。

③【問 56】主要含有成分の構造式を解答群 8 の中から選べ。

5）ソウジュツ

①【問 57】薬用部位を解答群 6 の中から選べ。

②【問 58】基原植物名について最も適切なものを解答群 7 の中から選べ。

③【問 59】主要含有成分の構造式を解答群 8 の中から選べ。

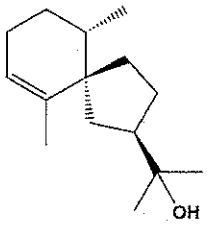
解答群 6（薬用部位）
1．樹皮　2．根茎　3．果実　4．とげ　5．根

解答群７（基原植物名）

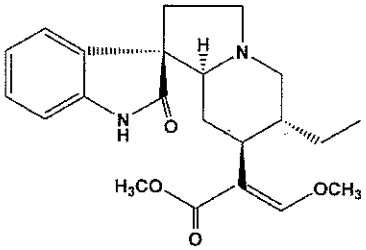
１．*Gardenia jasminoides*　２．*Rheum palmatum*　３．*Ophiopogon japonicus*

４．*Atractylodes lancea*　５．*Uncaria rhynchophylla*

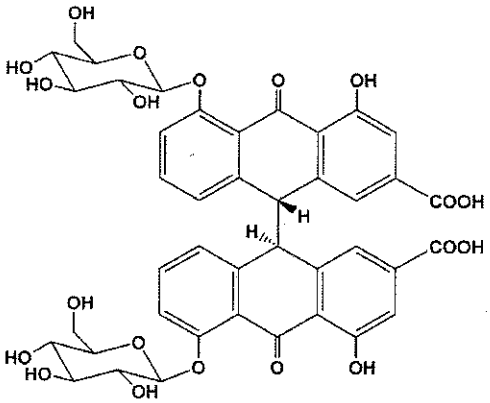
解答群８（主要含有成分の構造式）



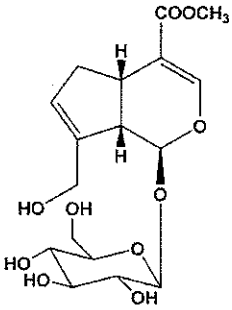
1



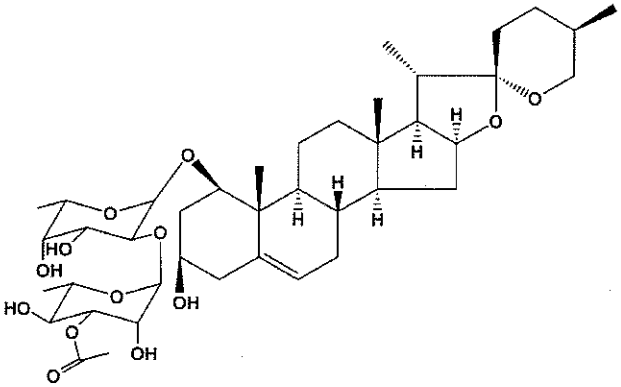
2



3



4



5

正解

生薬名	薬用部位①	基原植物名②	含有成分③
サンシシ	【問45】 3	【問46】 1	【問47】 4
バクモンドウ	【問48】 5	【問49】 3	【問50】 5
チョウトウコウ	【問51】 4	【問52】 5	【問53】 2
ダイオウ	【問54】 2	【問55】 2	【問56】 3
ソウジュツ	【問57】 2	【問58】 4	【問59】 1

Ⅷ　次の生薬の基原植物はどれか。該当する写真を解答群９から選べ。

【問 60】ヨクイニン　　正解２

【問 61】シンイ　　正解４

【問 62】ウコン　　正解７

【問 63】ソヨウ　　正解１

【問 64】バクモンドウ　　正解９

【問 65】ジュウヤク　　正解５

解答群９

1

2

3

4

5

6

7

8

9